

澁谷工業のダントツ技術による「未来創造」

飲料、食品、化粧品業界から再生医療、半導体製造まで、シブヤが誇る技術の用途は拡大し続けている



「当社のテクノロジーを通じて、より長く、健康的なQOL(生活の質)向上への取り組みをサポートし、社会に貢献したい」

澁谷工業株式会社
代表取締役社長 澁谷 英利

1931年に創業した澁谷工業株式会社は、ボトリングとパッケージングシステムのリーディングサプライヤーであり、飲料、食品、化粧品、半導体、農業、ヘルスケア業界の顧客から絶大な信頼を得ている。当初は、酒蔵に用品を供給していたが、その後、洗瓶機、充填機、キャップ、ラベラ、ケーサ、パレタイザなどのボトリングシステムを製造し始め、1960年代初頭には1台の機械で180mlから1800mlまでの多品種の容器を兼用できる世界初のシステムを開発するなど、ボトリング事業での活躍の場を拡大していった歴史を持つ。



抗がん剤用無菌ハザード充填システム

ボトリングシステムにおける「コア技術」が革新的な製品の基盤となり、同社は長年にわたり、半導体製造や最近では再生医療など、さまざまな業界に製品の用途を拡大することに成功している。社長の澁谷英利氏は、成功の要因としてシブヤの強みを3つ挙げている。「(1)常にお客様の繁栄を願う真剣なモノづくり、(2)お客様にお届け



最新鋭の無菌充填ライン組立工場

した機器やシステムの長期安定稼働をサポートするアフターサービス、(3)幅広い業界で培われた先端技術の応用から”ダントツ製品”を生み出す技術力」と。



再生医療用細胞培養アイソレータ

同社の「お客様第一主義」は、ビジネスとアフターサービスへのアプローチにも影響している。同社は、顧客に製品を販売することは関係の終わりではなく、むしろ今後長年にわたり大切にすべき信頼関係の始まりであると考えている。「当社の社訓は『喜んで働く』であり、モチベーションの重要性を強調しています。私たちは常にお客様の繁栄を祈り、製品を作る人は製品を使うお客様を想像し、真剣なモノづくりをします。当社では、各事業所、製造、組立、品質部門に神棚を設置し、毎週朝礼で全社員がお客様の繁栄をお祈りしております」と澁谷社長は言う。

また、同社が独自開発した無菌関連の技術は、様々な分野で採用され、世界の医薬品、飲料、再生医療業界の顧客に1,200台以上の無菌システムを供給している。「無菌関連の技術は、当社の卓越したコア技術の一つです。私のビジョンは、このコア技術を世界中の新市場に拡大することです。現在、ボトリングシステムや医薬品システムに使用される無菌処理の分野で、複数のビジネスパートナーと新たな開発を進めています。シブヤグ

ループ各社が互いに連携し、シナジー効果を発揮することで、再生医療、半導体、食品加工、医薬の各分野で事業拡大の余地は大きいと考えています」と澁谷社長は明かす。



飲料・乳製品PETボトル無菌充填システム

また、シブヤでは、グループ以外のパートナーとの協業も重要視しており、特に医療分野における規制に関しては、微生物学とバリデーションの専門家、米国非経口薬物協会(PDA)の元会長であるジェームス・エイカーズ博士、日本における無菌操作及びGMPの専門家である佐々木次雄博士、厚生労働省など、複数のステークホルダーと提携・協力している。さらに、同社は、佐賀大学発ベンチャーの研究者と再生医療用のバイオ3Dプリンターを共同開発し、山口大学と新しいタイプの肝臓再生療法にも取り組んでいる。

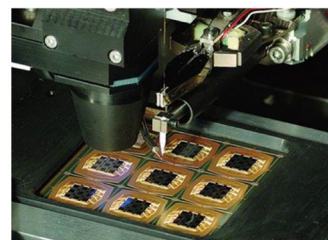


農業製品用選果選別システム

「イノベーションは、2つ以上の専門分野が会い、化学が相互作用するとき起こるということをある再生医療の教授から学びました。新しい技術を開発し、新しい市場に参入してい

くためには、異なる視点を持つパートナーとの協業が非常に重要であると考えています」と澁谷社長は言う。

半導体分野では、同社の主要製品は、後工程の実装、ボンディング、ワイヤーボンディングに利用されている。業界に新たなニーズが生まれるなか、AIや大規模データセンター向けの高性能チップに求められるナノレベルの実装技術の開発に取り組んできた。「この50年間で半導体のサイズはマイクロからナノへと移行し、ピッチが非常に狭くなり、ショートを避けるためにペーストレス接着が必要となりました。当社の高精度ボンダーは、近年求められている超精密ハンドリングのソルダーペーストレス・ボンディングを採用しています」と澁谷社長は説明する。



半導体用高精度ワイヤーボンダー

現在、アメリカ、中国、アジアの海外事業が売上高の3割を占めており、澁谷社長は、会社の国際的なプレゼンスを拡大し、その技術を通じてグローバル社会にさらに貢献したいと考えており、「飲料、再生医療、製薬、農業、半導体の各産業は、人類が進化し、より質の高い生活を望むようになるにつれて、新しいアイデアが増えていく分野です。当社のテクノロジーを通じて、より長く、健康的なQOL(生活の質)向上への取り組みをサポートし、社会に貢献したいと考えています」と述べている。

Shibuya

SHIBUYA CORPORATION

www.shibuya.co.jp